



記者発表資料

 平成25年1月18日（金）
 国土交通省関東地方整備局

平成24年度 首都圏の主要渋滞箇所の特定結果

～高速道路：91箇所、一般道：1499箇所（17エリア・224区間・507箇所）を特定～

首都圏渋滞ボトルネック対策協議会では、渋滞関係データから渋滞が多発している箇所や特定日に混雑している箇所を抽出し、一般の皆様や民間事業者（トラック協会、バス協会、タクシー協会、観光協会等）、道路管理者（都県政令市・市町村）からご意見を伺ったうえで主要渋滞箇所を特定しました。今後、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っていきます。

■主要渋滞箇所※)

☐ 高速道路：91箇所

☐ 一般道路：1499箇所（17エリア※1・224区間※2・507箇所※3）

※）渋滞発生状況等を踏まえ、主要渋滞箇所を「エリア」「区間」「箇所」に分類

※1）エリア…都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

※2）区間…交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

※3）箇所…単独で主要渋滞箇所を形成

表 首都圏の特定された主要渋滞箇所（1都3県）

道路種別	区分・都県別	主要渋滞箇所数
高速道路	首都圏中心部（外環内側）	30箇所
	首都圏（外環外側）	61箇所
合計		91箇所
一般道路	埼玉県	376箇所（4エリア（169箇所）・32区間（69箇所）・138箇所）
	千葉県	279箇所（4エリア（68箇所）・32区間（76箇所）・135箇所）
	東京都	433箇所（108区間（300箇所）・133箇所）
	神奈川県	411箇所（9エリア（221箇所）・52区間（89箇所）・101箇所）
合計		1499箇所（17エリア（458箇所）・224区間（534箇所）・507箇所）

 ※詳細（各都県毎）な位置図等は下記URLをご覧ください。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/road/shihon/jutai.html>

■主要渋滞箇所のうち早期に大きな効果が期待できる箇所について、道路管理者等が速やかに対策を検討。

☐ 東名高速（大和トンネル付近）

☐ 関越自動車道（花園IC付近）

☐ 京葉道路（幕張IC付近） 等

■主要渋滞箇所のうち一般の皆様からのご意見を多数頂いている箇所について、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会のワーキンググループを設置し対策を検討。

☐ 中央自動車道（小仏トンネル付近） 等

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、相模原記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者会、千葉市政記者会、山梨県政記者クラブ

◇ ◇ 問合せ先 ◇ ◇

国土交通省 関東地方整備局 TEL 048-601-3151(代)

道路部 道路計画第一課 課長補佐 近藤 進（こんどう すすむ） 内線4214

道路部 道路計画第二課 課長補佐 阿久津保則（あくつ やすのり） 内線4253

「地域の主要渋滞箇所」について

首都圏渋滞ボトルネック対策協議会

あらまし

- ・首都圏における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」※(以下「協議会」)において、渋滞箇所の的確な把握方法について検討しました。
- ・このたび、検討結果を踏まえ、道路利用者のみなさまが実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。

H24.6 第1回協議会

H24.7 第2回協議会

H24.12 第3回協議会

主要渋滞箇所の特定

※「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」の構成員

国土交通省関東地方整備局、関東運輸局、警視庁、埼玉県警本部、千葉県警察本部、神奈川県警察本部、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社

これまでの取り組み

- ・道路利用者と協議会の双方の意見を踏まえて、地域全体として実感している渋滞箇所を特定しました。

① 協議会の意見

最新のITS技術を有効活用して、客観的かつ効率的に渋滞箇所を抽出しました。

② 道路利用者等の意見

パブリックコメントにより、一般の皆様や民間事業者(トラック協会、バス協会、タクシー協会、観光協会等)、道路管理者(都県政令市・市町村)から、幅広く意見を頂きました。

パブリックコメントの案内チラシ



素案の選定(協議会の意見)

- ・客観的データに基づき、渋滞発生箇所を抽出
- ・地域における交通特性を考慮した抽出方法を検討

パブリックコメントの実施(道路利用者等の意見)

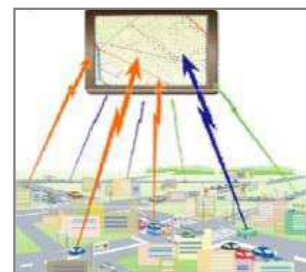
- ・道路利用者が実感している渋滞箇所を抽出
- ・最新データや現地状況により渋滞状況を確認

「地域の主要渋滞箇所」の特定

- ・集中する渋滞箇所は、効率的に対策を実施できるよう、区間またはエリアに集約

最新のITS技術を有効活用

- ・道路利用者の移動情報(プローブデータ)を収集・分析
- ・速度低下等の道路交通状況を客観的かつ効率的に把握



今後の予定

- ・対策検討に向けて、地域毎にワーキンググループを設立して議論を進めます。
- ・今後、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っていきます。